

平成 25 年 1 級建築士 設計製図試験課題は、“景勝地に建つ地域に開かれた美術系大学のセミナーハウス”という設定で、地域に開かれた自由で快適な空間計画が求められた。

〔課題の概要と講評〕

今年度試験の内容は、多くの実例建物に基づいたシンプルなものでしたが、特定多数の利用者施設でありながら、エントランスホール、研修部門及び食堂を地域住民との交流の場となるような配慮が求められ、開かれた自由で快適な空間構成が求められたことが、最も大きな特色です。

ただし、TAC 講習では、この開かれた施設の計画や敷地条件等のその他の条件についても、学習してきた内容でしたので、概ね想定範囲内の試験であったといえます。

課題の概要は、南側の 12m 道路に接道し、その対面に湖を望む敷地条件で、建築物は、地上 2 階建、延べ面積 1,500 m²~1,800 m²の規模で、150 m²のアトリエ、大中小のセミナー室を中心とした研修部門、洋室（4 人部屋）6 室と和室（12 畳）2 室、バス付個室宿泊室 2 室及び浴室から構成される宿泊部門、職員 2 人の事務室及び 30 人収容の食堂等の共用・管理部門で構成されるいたってシンプルなものでした。

敷地内の段差や特異なスパン割を強いるような意外な条件設定もなかったことから、難易度は比較的 low、受験者の完成率は昨年以上に高まるものと思われます。

しかし、想定内とはいえ、前面道路と最良の景観側（湖）が同じ南側という条件から、1 階のアプローチ計画と景観に配慮した配置計画をどううまく両立させるか、また、建ぺい率の上限 60% という条件から、無駄なく、効率的な空間計画が求められた一方で、アトリエ及びアトリエの準備室（約 30 m²）以外の要求室の床面積が“適宜”指定だったことから、比較的床面積の制約がなく、諸室の収容人数から規模想定する知識以上に、各階、各要求室をバランスよく、コンパクトに、整然とまとめる計画力が問われる試験になりました。

したがって、今年度は、常識的な構造計画及び設備計画に基づいた「設計」の完成度と、「製図」の表現力、「記述」の説明能力の質が、一層競われる試験になったといえます。

〔今年度試験の主要なテーマと主な採点のポイント〕

主要なテーマは、本来の機能を理解したゾーニング・動線計画及び学外者のわかりやすい動線計画、また自然豊かな立地条件において、景観保全のための建ぺい率（60%）の制限や勾配屋根の計画に対する対応、景観を眺望として取り入れた敷地の有効利用や所要室の計画となります。

では、試験の主な採点のポイントを探ってみましょう。

①建ぺい率の上限が 60%

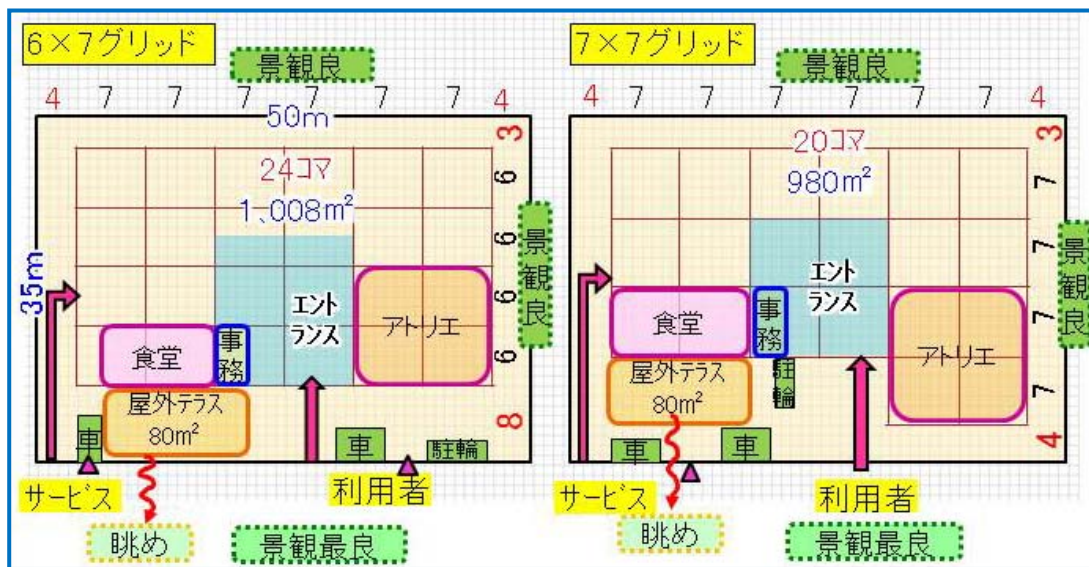
敷地面積が 1750 m²に対して、建築面積の最大限度は 1,050 m²となり、標準的な経済グリッドでいえば、図のように 7m×6m グリッドで約 24 コマ分、7m×7m グリッドで約 20 コマ分が限度ということになります。バルコニーや軒の出が 1m を超える場合は、その部分も算入されます。これに違反すると失格又は採点上大きなマイナスとなります。

②アプローチ計画と屋外テラスの計画

“利用者及び車いす使用者用駐車スペース”と“職員及びサービス用駐車スペース”のアプローチは分離できましたか。

各駐車スペースへの出入口を1箇所にとめることが難しい場合は、図の左側プランのように、2箇所に分けてアプローチを機能的に分離することの方が優先されます。

屋外テラス及び食堂は、「一体的に利用する」条件でしたから、図のように明るく開放的に南側景観配置とするのが原則です。また、エントランスホールには、ラウンジを設け、「周囲の景観を取り入れ・・・」とありましたので、南側に間口広く計画することがベストであったといえます。



③ゾーニング・動線計画

- 「研修部門及び共用部門の食堂は、地域住民との交流の場・・・」という条件ですので、順当に考えれば、研修部門及び共用・管理部門を1階、宿泊部門（浴室を含む）を2階に計画するのが最も基本的なゾーニングとなります。ただし、共用部門の食堂及び屋外テラスは、1階及び地上に計画するのが妥当ですが、「屋外テラスは、地上又は1階の屋上・・・」とありますので、1階屋上に屋外テラス、食堂を2階に計画することも可能であったと思われます。ただし、その場合、食堂は地域住民も使用できる条件でしたから、E.V.及び階段に近い位置に設ける動線計画が求められ、宿泊部門とのゾーニングも難しくなると考えられます。
- 事務室は、管理部門内に計画することよりも、エントランスに隣接させ、地域住民が利用する研修部門全体及び食堂が見通せる計画が優先されます。したがって、図のように事務室が管理部門から飛び出た計画でも、通用口からの動線に配慮されていれば（短く、明快な廊下でつながっていれば）、全く支障はありません。なお、事務室は、立地条件から考えて、自然採光や換気を取り入れた計画とし、無窓居室として計画することは望ましくありません。
- 1階の動線計画は、出来るだけ学外者がわかりやすい動線で誘導できる計画とするのが基本です。

④景観を眺望として取り入れた計画

「眺望に配慮する」という条件は、浴室だけでしたが、立地条件から考えれば、景観配置の優先順位〔食堂＞浴室（眺望指定）・談話室・ラウンジ＞宿泊室・セミナー室〕を考えた室配置が適切と考えられます。

- 浴室は、「眺望に配慮する」という条件から、出来れば湖側（道路側）がベストですが、それに準じる北、東側の樹林側配置とすることもできたと思われます。
- 一体利用が求められたパーティー等に利用される屋外テラスと食堂についても、上記の優先順位から南側眺望とすることが原則です。また、南側配置ができなかった場合でも、最低限北側又は東側の良好な景観側の配置とする必要があったと考えられます。
- エントランスホールは、吹抜け及びラウンジを持つアメニティ空間としての要求でしたから、南側の間口を広く計画し、南側景観を積極的に取り入れた計画がベストと考えられます。

⑤要求室の規模等（家具等の配置については、本試験答案プランを参照ください）

(1) エントランスホールに吹抜けとラウンジ、作品展示スペースの計画

エントランスホールは、まとまった交流スペースとして約 150 m²程度あればよいでしょう。

「明るく開放的に・・・」という条件でしたから、50 m²程度の広めの吹抜けを設け、上部にトップライトを設けるなどの計画が適切です。

(2) アトリエの面積及び天井高さ

約 150 m² (135 m²～165 m²) で、心々で 10m以上の無柱空間で要求されました。天井高さ 5 m 以上は、通常、吹抜け状空間として確保するのが適切です。

(3) 床面積が適宜の要求室は、次の標準面積で計画できましたか。

ただし、下記の床面積に固執するよりも平面計画全体のバランスと間仕切壁が柱割りと一致した整然とした計画が優先すると考える方が適切です。

●セミナー室： 2～2.5 m²/人を目安

セミナー室 A (50 人)：約 100 m²

セミナー室 B (15 人)：30 m²～40 m²

セミナー室 C (8 人室に 2 分割)：30 m²～40 m²を 2 分割

●宿泊室

・洋室 (4 人部屋)：洗面台と便所＋P S 及び談話コーナーを含め、30 m²～40 m²/室

・和室 (12 畳)：洗面台と便所＋P S、押入れ付きで、30 m²～40 m²/室

・洋室 (個室)：バス、洗面台、便所＋P S で、約 20 m²/室

●浴室 (各室 5 人)：男女別に、脱衣室を含め、20 m²～30 m²

●談話スペース (10 人)：約 30 m²

●管理事務室 (2 人)：6～8 m²/人を目安⇒約 15 m²

●食堂 (30 人)：1.5～2 m²/人、厨房は食堂の 1/2 程度

食堂 50～60 m²＋厨房約 30 m²、計約 90 m²

⑥景観保全の勾配屋根に関する設計上のポイント

(1) 勾配屋根の構造計画

勾配屋根をRCスラブで剛床として設計した場合、勾配屋根によるスラスト（柱を押し広げる水平力）に配慮して、2階柱の断面を1階柱同寸とすること、大スパン梁や小梁を、勾配と直行するけた行方向に水平に設けることなどがポイントとなります。また、鉄骨造とした場合は、屋根の剛性をどのように配慮したかがポイントとなるでしょう。

(2) 各階における設備スペースの計画

勾配屋根のため、屋上に設備スペースを設けることが難しいことから、1階の設備機械室、又は地上、もしくは1階屋上に適切な広さの設備スペースを設けなければなりません。

(3) 屋根勾配を活かした空間計画

勾配屋根を利用した、天井高さの計画や天窓（トップライト）や頂側窓などによる自然採光を取り入れた計画が必要となります。

⑦設備計画に関する設計上のポイント

- 学生用宿泊室に、便所、洗面台を設け、適宜1、2階にP.Sの計画が必要でした。
- 浴室用の給湯・ろ過設備の設置位置について記述が求められました。給湯器をバルコニーに設置し、ろ過設備は、2m×3m程度の設備スペースに設ける計画とするか、又は、浴室に近い位置に設備室があれば給湯器、ろ過設備とも設備室に計画するのが適切であったと考えます。小規模なものでしたので、ボイラーほどの設備は、不要であったと考えられます。

〔今年度試験の答案プラン〕

ここまでの採点ポイントを踏まえた答案プランをPDFファイルで2例掲載しました。
併せてご覧ください。

■10月27日(日)に渋谷校にて無料講座説明会「一級建築士に一発合格する戦略的学習法」を開催します！
無料講座説明会はこちら
http://www.tac-school.co.jp/kouza_kenchiku/kenchiku_gd_gd.html

■10月1日から10月31日まで毎日無料個別相談会を開催しています！（八重洲校）（土・日・祝日を除く）
無料個別相談会はこちら
http://www.tac-school.co.jp/kouza_kenchiku/kenchiku_kobetusoudan.html

「合格答案のポイント」無料配信！

神部先生がお伝えする、一級建築士設計製図試験の「合格答案のポイント」動画を『[建築士 動画チャンネル](#)』にて近日中にアップいたします。
視聴無料・登録不要なので、ぜひご覧ください！

TAC 動画チャンネル
○建築士
上のバナーをクリック！